

■招詞 詩編 34:9-10 味わい、見よ、主の恵み深さを。いかに幸いなことか、御もとに身を寄せる人は。

■礼拝の祈り

教会の頭なる主イエス・キリストの父なる神様、

<礼拝の招きへの感謝>

主の日の朝、あなたを礼拝するために、私たちは今ここに集まっております。何という幸いかと思います。そして、私たちが願う以上にあなたが望んでくださり、ここに招いてくださいました。感謝いたします。

主よ、同じ教会の肢とされた仲間と共にここにいます。励まし合いながらあなたを見上げ、祈りと賛美をささげたいと願います。そのような私たちの思いが一つとされ、主の体につながる群れとして建て上げられていきますように。そして今この場所にいない仲間の兄弟姉妹もまた、同じ主の体につながる者として一つにされていることを信じ、共にこの礼拝をささげさせてください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

主よ、御前に立たされている今、改めて自らを振り返らなければなりません。あなたの聖さにふさわしくない私たちです。どれだけあなたを畏れ敬う生活であったかと思います。御言葉によって心の底から新たにされて送り出されたはずなのに、古い自分に戻ってしまうような日々を過ごしていました。心と精神と思いの全てを尽くしてあなたを愛するのでなく、自らを中心とする思いに留まってしまいました。自分を愛するように隣人を愛するようにと勧められたにもかかわらず、自分のしてほしいことを人にさせようとしていたことを思います。私たちは教えられた御言葉にふさわしい生活をしたいと心から願っています。しかし、善いことをしようとしても、それを実行するのは難しいのです。罪の中にうずくまってしまう私たちを憐れんでください。御心にかなった悔い改めへと導いてください。そして私たちを立ち上がらせ、あなたの方へと向き直らせてください。御子の十字架の贖いのゆえに、あなたの赦しのもとで、こうして御前に立たせてくださいます。あなたの深い憐れみに感謝してささげる礼拝とさせてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

今日御言葉を取り次ぐために、笹野陽子先生をお遣わしく下さり感謝いたします。御言葉を語る笹野先生に、またそれを聞く一人ひとりに、聖霊が豊かに働いてくださり、共に御言葉の恵みにあずかることができますように。そして御言葉によって私たちを造り変え、新しい命に生きる者としてください。

私たちの救い主、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

＜御言葉と聖餐の恵みへの感謝＞

＜新しい月の歩みのために＞

主よ、新しい月を与えられました。今月の教会の歩みもまた主が守り、導いてくださる、そのことに信頼し、主にささげながら仕えてまいりたいと願います。そのような私たちの願いを主が祝し、豊かに用いてくださいますように。

特に再来週には信徒修養会を開こうとしています。聖書の言葉について教えられ、御言葉が身近になり、御言葉に養われていきたいと願っています。どうか霊に満たされた学びとなりますよう、左近先生の準備を、また私たちの準備を主が導いてくださいますように。

＜諸教会のために＞

主よ、神奈川連合長老会の交わりの中で、同じ信仰に基づいて教会を建て上げ、伝道に励んでいきたいと願っています。今日の礼拝もまたそのような交わりと支えによって、笹野先生が遣わされ、御言葉の解き明かしがなされました。主のお支えに感謝いたします。笹野先生の働きの上に、これからも主の祝福が豊かにありますように。

長倉牧師も海老名教会の代務者としての働きを担っています。牧師の働きと健康をあなたが支え、守ってくださるようお願いいたします。

諸教会が、世の光、地の塩として福音を宣べ伝え、主を証しする群れとして用いられますように。その中でも、牧師が不在となっている教会をあなたが守ってください。

＜助けを必要としている人たちのために＞

教会の友の中に高齢のため、病気、けがのために礼拝に出席できない者が多くいます。家族と共に、あるいは一人でささげる礼拝に主が共にいてくださり、祝福をもってお守りくださいますように。毎日の重荷をキリストが共に担ってくださっている、そのことを心の内に確かにし、御言葉によって養われながら、一日一日を歩むことができますようお支えください。そして助けを必要としている人たちのために私たちがとりなし祈り、主に示されながら、必要なわざをなしていくことができますよう導いてください。

＜週日の生活のために＞

この礼拝から送り出されて、それぞれの場に遣わされようとしています。あなたが委ねてくださったわざに励むことができますよう私たちをお用いください。

そのためにも日々御言葉によって私たちを養ってください。祈りを導いてください。聖霊がとりなしてくださることに支えられ、たゆまず祈る生活へと導いてください。

私たちの主、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

■祝福 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。